

会 議 録

1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第1回定例会

2 開 催 日 時 平成28年5月10日(火)午後3時~午後5時15分

3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 1階 大ホール

4 出席者氏名 【公民館運営審議会委員】 17名

額賀 敏行	平岡 憲子	本多 二三代	村上 淑子	石井 京子
松尾 玲子	青木 健	古藤田 憲之	三上 由美子	鈴木 正
清水 正夫	山田 治子	渡利 明	安藤 清康	瓜田 栄一
菅原 興二	鶴岡 俊之			

【公民館長】 16名

石井 一彦 (中央公民館)	関口 明 (八幡台公民館)
星野 隆弘 (富来田公民館)	高橋 栄二 (東清公民館)
江野澤 和彦 (岩根公民館)	原 敏美 (清見台公民館)
高橋 利幸 (鎌足公民館)	西嶋 久美子 (畑沢公民館)
小原 俊郎 (金田公民館)	若鍋 知幸 (岩根西公民館)
小川 恵市 (中郷公民館)	本多 豊 (西清川公民館)
露崎 義男 (富岡公民館)	石井 章 (波岡公民館)
伊藤 孝 (文京公民館)	篠原 和行 (桜井公民館)

【事務局職員】 4名

松本 明子 (中央公民館副主幹)
齋藤 礼司郎 (中央公民館主査)
栗本 優 (中央公民館主事)
稲村 員代 (中央公民館社会教育指導員)

5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号 平成28年度公民館重点施策及び事業計画について

議案第2号 関係委員の選出について

- (1) 木更津市生涯学習推進協議会委員の推薦について
- (2) 木更津市生涯学習フェスティバル実行委員の選出について

報告事項 (1) 各委員からの報告

(2) その他

- ・平成28年度公民館運営審議会の活動予定と関連事業について
- ・平成28年度各地区文化祭(公民館まつり)の日程について
- ・公民館周年事業について

6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した（20名の定員に対して17名の出席）ため、本会議が成立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告。

平成28年度木更津市立公民館運営審議会第1回定例会を開会する。

新年度初の定例会であることから、新館長を事務局から紹介する。

山田委員長の議長で審議に入る。

<議案第1号 平成28年度公民館重点施策及び事業計画について>

山田議長より、平成28年度公民館重点施策と各公民館の主な事業計画等について説明を求める。

事前に配布してある資料（各公民館重点目標、事業計画）をもとに、中央公民館長が公民館の重点施策と主な取り組み内容について説明する。その後、各公民館の事業重点目標と事業計画について、中央公民館から順番に3回に分けて説明を行う。

石井中央公民館長 : お手元の黄色い冊子をご覧ください。表紙をめくりますと、「きさらづ未来活力創造プラン(木更津市第1次基本計画)」とあります。これは平成27年から30年までの4年間における木更津市の基本的な方向性を示したものです。その中で、施策の一つとして「社会教育の充実」が掲げられております。それを受け、木更津市教育委員会では「木更津市教育振興基本計画」の中で七つの基本目標を定め、実現に向けた施策を展開しています。3~4ページでは、基本目標を実現するための政策・施策を体系立てた表を掲載しています。公民館においては、この「教育振興基本計画」に基づき、公民館活動充実のために五つの柱に沿って事業を展開しています。まず一つ目は、高度で多用化する市民の学習要求や現代的課題に対応した事業の展開、二つ目は、家庭教育に関する各種学習機会の提供、三つ目は、地域ぐるみの青少年教育事業の展開、四つ目は、高齢者の学習機会の提供と社会参加の促進、五つ目は市民とともに歩む公民館活動の推進です。

平成27年度の公民館事業については、全部で259の事業を実施し、内訳は一つ目が94事業、二つ目が40事業、三つ目が68事業、四つ目が20事業、五つ目が37事業です。今年度はさらなる社会教育の充実を目指し、全体的な事業数を増やしていくことを考えています。

山田治子委員長 : ではここまでの説明で何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

質問事項無し

質問等ないようですので、次は各館の事業に関する説明に移りたいと思います。各館の館長はそれぞれ特色ある事業や新規事業などについて説明をお願いいたします。なお、各館の事業計画については、5館、5館、6館と区切りその都度委員より質問、意見を求めます。説明については、時間の関係で要点のみ簡潔にお願いいたします。

はじめに、中央、富来田、岩根、鎌足、金田公民館からお願いします。

石井中央公民館長 : 中央公民館では、事業の重点目標として大きく四つの目標を掲げ、それに添った

事業を展開しています。特徴的な事業としてハンディキャップのある人を対象にした「ポランの広場」があり、今年度も引き続き実施いたします。平成 28 年 3 月の「地域づくりとこれからの木更津市の公民館事業のあり方について(答申)」を受け、新規事業として、若者対象事業の準備会を計画しています。また中央市民講座など、身近な地域課題に即した事業を開催いたします。

星野富来田公民館長 : 富来田公民館では、地域の教育力を高めるため、23 事業を展開しています。その中で特徴ある三つの事業について説明いたします。まず一つ目は、「富来田芸術鑑賞教室」です。これは、優れた芸術作品や芸能に触れ親しむことを通して、美に対する意識や豊かな感性を育むと共に地域の文化向上、発展に資するための事業です。二つ目は、「ふくた健康教室」です。これは、地域固有の健康課題を踏まえ、地区内の住民の生活習慣の改善を促すための事業です。三つ目は、「富来田地区まちづくり協議会」です。地域自治を推進していくため組織を強化し、円滑な運営が行えるよう、必要な支援を行っていきます。

江野澤岩根公民館館長 : 岩根公民館では、五つの重点目標に従い事業を展開しています。その中でも、特色ある四つの事業についてご説明いたします。一つ目は、新規事業である「岩根パソコン教室」です。パソコンを使った文書作りの基礎を学びます。二つ目は、青少年育成岩根東地区住民会議が主催する「ナイトウォーク」です。地区の全ての住民と、中学生を対象としています。三つ目は、地域の高齢化率が高いことなどを考慮した「高齢者教室」を包括支援センターや市の保健師と協力して開催します。四つ目は、岩根東地区まちづくり協議会の中で、「防災訓練」を予定しています。

高橋鎌足公民館長 : 鎌足公民館では、活気ある生涯学習・社会教育活動の拠点として活気ある公民館運営を実施するとともに、地域住民と協働または同じ目標を掲げる各種団体を支援し、心豊かな青少年育成や人づくり・地域づくりを目指します。新規事業はありませんが、農村地区であることや歴史深い地区であるといった特徴を活かした事業を展開します。また人口減少や高齢化や、自主防災など地域のあらゆる課題を解決するため、鎌足地区では「まちづくり協議会」発足に向け準備をしていますが、鎌足公民館としては、求めに応じた支援をしていきます。

小原金田公民館長 : 金田地区では、開発や人口増加にともない、新しい住民と既存の住民との交流が課題となっています。金田公民館ではこの課題を考慮した、四つの重点目標を掲げ、それに添った事業を展開いたします。特色ある事業や新規事業としていくつかご紹介します。「海彦の学校」では、空いている畑を利用し、さつまいもや豆の栽培を行ったり、金田独自の文化である「つなはり」なども学びながら、住民同士の交流を図ります。また岩根西公民館と波岡公民館と合同で、小学 3 年生以上を対象にした「山と海での冒険スクール」を開催し、子どもたちの自立心を育む機会とします。最後に、今年度から「まちづくり協議会」を発足する予定となっています。

山田治子委員長 : ではここまでの説明で何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

清水正夫委員 : 岩根公民館へ質問いたします。ナイトウォークを行うとお話でしたが、この事業の目的を教えてください。

- 江野澤岩根公民館長 : このナイトウォークは 15~16 年の歴史があります。かつて学校が荒れていた時代に、生徒の交流を深め、住民が連携を図り、地域全体で教育に関わっていくという目的で始められました。夜間歩くことで日常とは違う環境の中で事業が繰り広げられ展開されます。生徒同士が協力し合いながらゴールするのですが、協調性を育むことにもつながります。
- 古藤田憲之委員 : 中央公民館で若者対象事業の準備会というものがありますが、具体的にどういった世代を対象にする予定ですか。また、中央と岩根公民館でパソコン講座が開催されますが、パソコンはどのように用意するのですか。
- 石井中央公民館長 : 若者対象事業は、特に地域にこだわって一中学区の青年層の 20 代くらいの若者を対象に、取り組みたい課題について集まった人たちで話し合っていくものなどを考えています。パソコンについては、参加者に持参していただきます。
- 山田治子委員長 : では続いて中郷、富岡、文京、八幡台、東清公民館お願いします。
- 小川中郷公民館長 : 今年度は、事業重点目標のうち、③の「市民の自主的な地域活動に対する積極的な支援」では、事務局として関わっている団体に限らず、地域とのきずなづくりを支援していきます。また、事業計画のうち、1~3の生き生き子ども地域活動促進事業・サタデースクール事業では、地域の子どもボランティアに協力いただきながら、体験活動を実施していきます。4~6の家庭教育では、各世代の家庭教育学級の中で、お互いの情報を共有し仲間づくりを進めていきます。
文化祭については、関係者と協議し、中郷地区ならではの祭りを企画し、中郷中学校で実施します。
また、総務課危機管理室担当の木更津市総合防災訓練ですが、11月12日、13日に中郷中学校にて実施します。
- 露崎富岡公民館長 : 富来田地区は、高血圧など、生活習慣病にかかっている人の割合が高く、富来田公民館と合同で、自分の健康は自分で守るため、健康教室を実施します。富岡公民館の特徴は、陶芸サークルが盛んなことです。また、小学生にもものづくりの楽しさを知ってもらうため、子ども陶芸教室を実施します。
- 伊藤文京公民館長 : 新設事業のうち、サタデースクール「親子わんぱく挑戦塾」を実施します。自然体験、屋外炊飯、野山歩き、たくましく成長するきっかけづくりと親子のコミュニケーションを図ります。また、家庭の防災力を高めるミニ学習会を実施します。食糧の備蓄等、身近なものを使った応急処置の実施等、具体的な学習会を実施します。
- 関口八幡台公民館長 : 高齢者人口の割合の高い地区の上烏田、八幡台地区と、若者人口の割合の高い羽鳥野地区があり、地区内の融和が必要になっています。そのため、八幡台公民館は、子どもの年齢別で対象とした、4つの家庭教育学級を重視しています。また、地区の融和をめざした取組みとして、文化祭、音楽祭のほか、防災での連携を目的としたまちづくり協議会が6月5日に設立されますので、八幡台公民館は、総務として参加します。公民館は、高齢者の生きがいがづくりの場として重要な役割を担っていますが、その高齢者の姿が、青少年、子育て世代にとってもよきモデルとなるため、高齢者事業の充実を図ってまいります。

高橋東清公民館長 : 3人の職員で事業を一つひとつ確認しながら進めていきます。公民館だよりも各事業と地域と人との強いパイプになっています。今年度は、家庭教育学級で地域とのつながりを強めていきたいと考えています。

山田治子委員長 : ではここまでの説明で何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

質問事項無し

では続いて清見台、畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井公民館をお願いします。

原清見台公民館長 : 清見台地区は、新日鉄の進出による移住者と区画造成による市街化により、対象人口は増加傾向で約2万人です。

家庭教育事業では子育て世代(若い母親)のコミュニケーションと仲間づくりのために事業を充実していきます。

青少年事業では、今年度は16回目の通学合宿を行います。平成27年度は45名の参加と大規模になってしまったので、今年度は内容の充実を図るため30名にしぼりたいと考えているところです。

開館以来、清見台地区では、文化祭、清見台音楽祭で文化の振興を図ってきました。今年の音楽祭は6月5日に開催を予定しています。

清見台公民館は高台にあり、3年前の矢那川が氾濫した台風災害のときには、地区の方だけでなく、他地区からも避難されてきた人がありました。昨年度からは、自治会と連携して、地域防災の取組みを実施しています。

西嶋畑沢公民館長 : 畑沢地区は人口13,000人と市全体の1/10を占めます。地区の大半は新興住宅地ですが、高齢化が進んでいます。開館33年目になりましたが、主催事業への申し込みが多く、公民館活動が地域に定着しています。

公民館全体の共通課題として実施している健康講座では、畑沢健康講座シリーズとして、初心者向けのウォーキング講座、男性対象の免疫講座、若いお母さんのための食育講座、といった対象を明確にした3つの講座を実施します。

若鍋岩根西公民館長 : 働き盛りの世代を対象とした新健康講座、新・大人が楽しむ写楽講座を実施します。仕事をしている若い人向けの夜間の講座になります。

青少年事業は、金田・波岡と共同で海辺の冒険スクールの開催、また地区内では通学合宿を実施します。毎年開催している通学合宿では、以前体験した子どもが、岩西中を卒業し高校生となってユースボランティアとして参加するようになりました。なお、岩根西公民館は、10月30日(日)に開館30周年記念事業を実施します。

本多西清川公民館長 : 経営方針のもと5つの重点目標、22の事業を実施しています。西清川地区文化祭では、永井作の青年会が餅つきに参加し、地域の住民団体に喜ばれています。

また、新しい事業として、公民館利用者のサークル活動中の不測の事態に対処するために、利用者AED講習会を実施します。

石井波岡公民館長 : 波岡公民館は60のサークルが活動しており、高齢者が活発に利用しています。小学生対象の家庭教育学級が、昨年度母親の参加が難しいことから休止してしまし

たが、今年度は実施していきます。

また、波岡マップ作成教室では、平成27・28年度で地域を回り、作成していきます。地域コミュニティーの充実を図っていきます。

篠原桜井公民館長 : 明るくあいさつと笑顔あふれる公民館になっていくように、公民館は出会いの場、ことばでつながりましょう、心でつながりましょう。少しでもいいから地域のために活動してほしいとよびかけています。公民館の活動のひとつとして、地域づくりの支援のために動いています。

家庭教育学級では、障害者の子の母親のフリースペースである、桜井コミュニティーカフェを充実させていきます。気になる子どもを持つ親のための講座を昨年度は市と共催で実施していましたが、今年度は独自で進めていきます。

サタデースクールでは、今年度は、伝統的なゲームを通じて多世代の人たちと交流する場を設けていきます。

山田治子委員長 : ではここまでの説明で何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

質問事項無し

村上淑子委員 : 市議会だよりに掲載されていましたが、今年度1802万円の公民館耐震対策事業費が計上されています。公民館まつりの視察の際に手すりや水周りの古くなっているところを上手に使っていると思ったところですが、今年度、岩根、鎌足、中郷、文京、八幡台の5公民館が挙げられていました。修繕されるのですか。この予算の内訳はどうなっているのですか。

石井中央公民館長 : この予算は、耐震診断を実施するための公民館耐震対策事業費として計上されたものです。公民館の壊れた箇所の修繕については、修繕費として別に予算が計上されています。

山田治子委員長 : 他にご質問・意見等、無いようでしたら、審議はこれをもちまして終了といたします。

昨年度の反省を生かしながら、それぞれの館が創意工夫を凝らし、地域課題や要望を踏まえ、多様な事業に限られた予算や職員体制の中で、取り組んでいる様子がよくわかりました。

地域課題の山積する中、地域によっては、参加者の募集・事業運営などで大変苦労されている公民館もあると思います。我々委員はもちろん、利用者や住民の方々との日常的な交流をさらに深め、お互いに知恵を出し合う中で、実りのある事業が展開されますよう期待をいたしておりますので、よろしく願いいたします。

〈議案第2号 関係委員の選出について〉

事務局より、平成28年～29年度の木更津市生涯学習推進協議会委員として、候補者1名を選出と、平成28年度の木更津市生涯学習フェスティバルの実行委員として、候補者1名を選出してほしい旨説明。議長より諮られたが、事務局一任の発言があり、事務局案として、木更津市生涯学習推進協議会委員は古藤田憲之委員（任期平成28年度4月1日～平成30年3月31日）を、木更津市生涯学習フェスティバル実行委員は菅原興二委員（任期は、木更津市生涯学習フェスティバル2016が終了するまでの期間）を推薦したい旨提案がなされた。

拍手で承認され、古藤田委員、菅原委員よりひとこと挨拶をいただく。議案第2号は、以上で終了。

<報告事項>

各委員からの会議の進捗等に関する報告

社会教育委員会議の報告

青木健副委員長：3月25日に定例会が開催され、「平成28年度木更津市教育振興事業補助金（社会教育振興事業）」の交付について」諮問・協議・答申がなされ、（仮称）金田地域交流センターの整備について、公民館の総合的な整備計画の策定方針等について協議されました。金田整備計画では、公民館機能を有する交流センターではなく、公民館を設置してほしいとの意見が出ていた。

生涯学習推進協議会の報告

松尾玲子委員：3月の定例会で報告済み。

図書館協議会の報告

本多二三代委員：3月19日に第2回定例会が開催され、平成27年度事業報告がなされたが、インターネット利用（安全面）についての質問や公民館図書室利用の増加の報告があった。

君津地方公運審連絡協議会役員会・総会の報告

山田治子委員長：事務局・役員会は5月17日に開催予定、理事会・総会は5月26日に開催を予定しています。委員の皆さんの出席をお願いします。

<事務局より、その他連絡事項等に報告>

平成28年度木更津市立公民館運営審議会の活動予定と関連事業について、あわせて、平成28年度各地区文化祭（公民館まつり）日程、および文化祭視察日を10月29日（土）実施について伝達。また、岩根西公民館30周年記念事業の日程（予定）について、岩根西公民館若鍋館長から説明された。

以上で全ての議事を終了し、第1回定例会を閉会した。

引き続き、委員と公民館長の情報交換を3グループに分かれて行う。

平成28年5月20日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
委員長 山田 治子